

(案)

## 物品購入契約書

那覇港管理組合 管理者 玉城 康裕（以下「甲」という。）と〇〇会社 代表取締役〇〇（以下「乙」という。）とは、次のとおり契約を締結し、信義に従いこれを履行する。

- 1 件 名 物品売買契約（人体表面温度発熱監視装置）に係る一般競争入札
- 2 履行期間 着手 契約締結の日  
完了 令和2年8月14日
- 3 納入場所 那覇港管理組合
- 4 契約金額 ￥ 〇〇〇 —  
（うち取引に係る消費税額及び地方消費税額は、￥ 〇〇〇 —）
- 5 契約保証金 ￥ 〇〇〇 —

第1条 乙は、別紙仕様書に基づき頭書の契約金額をもって、物品（人体表面温度発熱監視装置）の納品を完了しなければならない。

- 2 別紙仕様書に明記されていない事項があるときは、甲と乙が協議して定める。ただし、軽微なものについては甲の指示に従うものとする。

第2条 乙は、納品しようとするときは、あらかじめその旨を甲に通知し、物品の持込みと同時に納品書を提出しなければならない。

- 2 業務の性質又は目的等によっては、甲の承認を得て、分割して納入することができる。
- 3 納入のため持込んだ物品は、甲の承認を得なければ引き取ることができない。

第3条 乙は、甲の行なう検査に合格した物品でなければ納入することができない。検査に要する費用及び検査のため変質し、変形し又は消耗破損したものは、すべて乙の負担とする。

- 2 乙は、甲の指定した日時、場所において検査に立会うものとする。乙は、立会いをしないときは、検査の結果につき異議を申し立てることができないものとする。

3 検査方法については、那覇港管理組合契約規則第30条各項による物品の買い入れによる検査によるものとする。

第4条 乙は、検査の結果不合格と決定した物品は遅滞なく引き取り、かつ、直ちに代品を納入しなければならない。

2 前項の場合は、甲は1回に限り相当日数を指定して、代品納入又は手直しの期間を認めることができる。この代品納入又は手直しができたときは、さらに届け出て検査を受けなければならない。

第5条 乙は、納入物品の引渡後2年間は、その隠れたかしについて無償でこれを補償し、又は取り替える責任を負わなければならない。

第6条 乙が、かしの補修又は取替に応じないとき、その他この契約から生ずる義務を履行しないときは、甲は、乙の負担でこれを執行することができる。このために乙に損害を生ぜしめることがあっても、甲は賠償の責任を負わないものとする。

第7条 乙は、天災地変その他やむを得ない理由により履行期間までに購入完了することができないときは、その理由を詳記して期限延長の願出をすることができる。

2 前項の願出は、履行期間までにしなければならない。

3 甲は、第1項の願出が正当と認めたときは、これを承認し、第9条の違約金を免除することができる。

第8条 契約金額は、検査の完了後、甲は乙の適法な支払請求書を受理した日から30日以内に支払うものとする。ただし特別の理由がある場合はこの限りでない。

2 第2条第2項の規定により、分割して納入したときは、既納分に対し分割支払することができる。

第9条 乙は、履行期間までに業務完了を終了しないときは遅延日数に応じ、未済部分の契約金額に対し年2.6パーセントの割合の金額を違約金として甲に納付しなければならない。

第10条 この契約の履行について生ずる一切の損害は、乙が負担するものとする。

第11条 甲は、必要があるときは、乙と協議の上、この契約の内容を変更し、又は業務を中止させることができる。

2 前項の場合において、契約金額を増減する必要があるときは、単価により算定し、もし、これを甲において不相当と認めるとき、又は期限を伸縮する必要があるときは、甲の相当と認めるところによるものとする。

第12条 乙は、この契約から生ずる権利義務を第三者に譲渡し、又は担保に供してはならない。ただし、信用保証協会又は中小企業信用保険法施行令（昭和25年政令第350号）第1条の2に規定する金融機関に対して売掛債権を譲渡する場合にあつては、この限りでない。

第13条 乙は、この契約について契約事項に明示されていない事項でも、業務完了上当然必要なものは、甲の指示にしたがい乙の負担で施行するものとする。

第14条 乙はこの契約条項のほか、那覇港管理組合契約規則を守るものとし、もし、疑義を生じたときは甲、乙協議するものとする。

この契約の成立を証するため本書2通を作成し双方記名押印して各1通を保有する。

令和2年 月 日

（甲）委託者

住 所 那覇市通堂町2番1号

名 称 那覇港管理組合

氏 名 管理者 玉城 康裕 印

（乙）受託者

住 所

名 称

氏 名